No. 八

11年 5月 6日

但　電燈料一ヶ月十燭光四拾銭、六燭光一ヶ月六拾銭、石油燈代一ヶ月ノ弐拾銭

税金一ヶ月壱円、木炭代一ヶ月弐拾五銭、其他ハシ、カゴ雑品等

以上支出合計金五拾貳円八拾七銭也

差引一ヶ月夫婦稼働者手許残金七円拾参銭也

然ルニ昨今ノ如キ炭況不振時期ニ於テハ貯蓄心アル勤勉ナル鑛夫ニテモ（自身ニ）貯金ヲ得ル

モノハ極メテ少ナク況ンヤ拾才未満ノ子女アル夫婦者ハ頗ル生活難ニ陥テ剰サヘ鉅

豊炭坑ニハ落盤瓦斯又ハ炭塵爆発捲揚竪坑ニ於テ、自動車道又ハ捲揚

車道ニ於テ、坑車ノ為メ、発破又ハ爆発薬ノ為、瓦斯ノ中毒又ハ窒息、出水ノ為、

器械ノ為、電気ノ為死亡、重傷、軽傷数ハ従業坑夫総数ノ約半数ニ当ル統計

ヲ示シ加フルニ筑豊名物ノ日本黄疸出血性（炭坑）スピロヘータ病（ワイルル氏病）ハ死亡

率頗ル多数ニ上ル如何ナレバ炭坑夫トナリテ半バ「ムグラ」ノ如キ生活ヲ為スモノナル

カ之レニハ無據従事セザル可ラザル事由ノ存スルアリ稿ヲ改メテ報告スル所アル

(甲)